

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育実習指導 I A	演習	1 単位	園田 雪恵・藤本明美

【ディプロマポリシーとの関連】

＜認知的領域(知識・理解)＞

3. 保育者・教育者として、幅広い教養を身につけている。

＜技能・活動的領域(技能)＞

5. 子どもの感性や個性を大切に育てるための保育に関する(音楽・造形・体育など)の実践力を身につけている。

6. 子ども学ゼミや実習指導によって習得した技能を保育・教育の現場に用いることができる。

【授業のテーマ及び到達目標】

授業のテーマ: 保育実習 I A に参加するために必要な事項を学ぶ。

到達目標: ・保育実習 I A の意義、目的、内容を説明することができる。

・実習記録・指導案を作成することができる。

・実習に必要な心構えについて説明することができる。

【授業の概要】

保育実習 I A が円滑に実施できるよう、理論と実践の両方の側面から準備を行う。各自の課題を確認しながら、講義と演習を通して、保育力の向上をめざす。実習記録の記入方法や指導案作成方法について学習する。また、作成した指導案をもとに模擬保育を実施する。授業内容に応じて、外部講師による指導を取り入れる。

【全体の授業計画・内容】

1. 保育実習 I A の意義、目的、内容

事前学修課題: シラバスを熟読し、関係した情報を収集する。【0.5 時間】

事後学修課題: 配布された資料を各自でまとめて理解する。【0.5 時間】

2. 実習生のマナーと心得についての説明

事前学修課題: テキストの該当箇所を読んでおく。【0.5 時間】

事後学修課題: 授業で学んだことをまとめる。【0.5 時間】

3. 実習園について・実習の心構え

事前学修課題: 実習園について、理解しておく。【0.5 時間】

事後学修課題: 実習の心構えについて再度確認する。【0.5 時間】

4. 実習記録について

事前学修課題: 実習記録に関する箇所のテキストを読んでおく。【0.5 時間】

事後学修課題: 実習記録を書いてみる。【0.5 時間】

5. 指導案の書き方について

事前学修課題: 指導案に関する箇所のテキストを読んでおく。【0.5 時間】

事後学修課題: 指導案を書いてみる。【0.5 時間】

6. 指導案作成・模擬保育(0 歳児)

事前学修課題: 配布された資料を読んでおく。【0.5 時間】

事後学修課題: 模擬保育について、振り返る。【0.5 時間】

7. 指導案作成・模擬保育(1 歳児)

事前学修課題: 配布された資料を読んでおく。【0.5 時間】

事後学修課題: 模擬保育について、振り返る。【0.5 時間】

8. 指導案作成・模擬保育(2歳児)

事前学修課題:配布された資料を読んでおく。【0.5時間】

事後学修課題:模擬保育について、振り返る。【0.5時間】

9. 指導案作成・模擬保育(3歳児)

事前学修課題:配布された資料を読んでおく。【0.5時間】

事後学修課題:模擬保育について、振り返る。【0.5時間】

10. 指導案作成・模擬保育(4歳児)

事前学修課題:配布された資料を読んでおく。【0.5時間】

事後学修課題:模擬保育について、振り返る。【0.5時間】

11. 指導案作成・模擬保育(5歳児)

事前学修課題:配布された資料を読んでおく。【0.5時間】

事後学修課題:模擬保育について、振り返る。【0.5時間】

12. 乳児とのかかわり(外部講師)

事前学修課題:配布された資料を読んでおく。【0.5時間】

事後学修課題:乳児とのかかわりについて、振り返る。【0.5時間】

13. 実習園における事前打ち合わせについて、必要書類についての説明

事前学修課題:実習園について、調べておく。【0.5時間】

事後学修課題:事前打ち合わせに必要な書類を準備する。【0.5時間】

14. 実習直前指導

事前学修課題:実習で必要のものについて確認をし、準備をしておく。【0.5時間】

事後学修課題:実習での目的を明確にする。【0.5時間】

15. 試験およびまとめ(担当:園田・藤本)

事前学修課題:これまでの授業で学んだことをまとめる。【0.5時間】

事後学修課題:保育実習 I A における課題の確認を行う。【0.5時間】

【学習のあり方】

自分で工夫しながら、実習記録や指導案を立ててみる。指導案を立てて、模擬保育を実践すること。実習を通して自分の課題を確認し、不足部分を次の実習までに克服できるように、練習や勉強を重ねていく。

【成績評価】

提出物(100%)により評価する。

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

提出物や保育実習 I A の成績評価をもとに個別面談を実施し、つぎの実習での課題を明確化する。

【テキスト】

久富 陽子他『幼稚園・保育所実習 指導計画の考え方・立て方』萌文書林

【参考文献】

適宜紹介する。

【実務経験の有無】

幼稚園教諭としての経験をいかし、保育者としての実践的な学びについて指導する。(園田)

幼稚園教諭としての経験をいかし、保育者としての実践的な学びについて指導する。(藤本)